



保育士

柳田認定こども園 熊井 愛 平成 27 年度入庁

子どもの成長を近くで感じられる時が、一番嬉しく感じる瞬間です

現在、3歳児の担当をしています。日々の保育では、子どもたちと一緒に活動を楽しむことや、子どもたちが安全に安心して過ごすことができ、様々な興味や関心を持って意欲的に活動できる環境づくりを大切にしています。また、子どもたち一人一人の個性に合った保育や言葉かけができるよう心がけています。

ある日の私の1日

- 8:10 登園
- 8:30 登園児受け入れ
- 9:00 戸外で子どもたちと遊ぶ
- 11:20 子どもたちと給食
- 13:45 子どもたちがお昼寝の間に職員での話し合い
- 15:00 子どもたちとおやつ
- 16:00 降園児の見送り、保護者へ1日の様子を伝達
- 17:00 保育の準備、環境整備
- 18:15 退園

大切な子どもたちを預かっているという大きな責任もありますが、先輩方からたくさんのアドバイスをいただき、研修などで同期の保育士と相談し合うなど、たくさんの方に支えてもらいながら保育に取り組むことができていると実感します。その中で、発表会や運動会など、頑張っただけの姿を見て、子どもたちの成長を感じられる時が、私が一番嬉しく感じる瞬間で、この仕事の魅力だと思っています。



消防

平成 28 年度入庁 倉敷消防署 竹原 麻莉

日々訓練や経験を積むことで成長し、市民の役に立つことができる仕事です

私は現在、火災発生現場での消火活動をしたり、救急隊員として怪我や急病の方に、必要な応急処置をしながら病院へ搬送するなどの業務を行っています。実際に現場に出動してみると、約6ヶ月間の消防学校で学んだ基礎技術や知識に磨きをかけ、さらに現場活動での経験や訓練を重ねることが、消防職員としてとても重要なことであると実感しました。

ある日の私の1日

- 7:30 出動
- 8:30 勤務交代
- 12:00 昼食
- 13:00 訓練・救急出動
- 17:15 夕食
- 18:45 ミーティング・救急出動
- 24:00 仮眠(うち2時間を通信勤務)
- 6:00 起床
- 8:30 勤務交代

消防士は市民の方々の生命・財産を守る、責任の重い仕事で大変なこともありますが、その分やりがいも大きいです。日々訓練していることが、救急現場での迅速な対応につながり、市民の方から「ありがとう」の声をいただいた際は、消防職員になって良かったと実感します。今後も、市民の皆様に安心して暮らしていただけるよう、日々成長していきたいです。

人材育成のための研修体制

倉敷市は、キャリアに応じて求められる能力開発を、長期的かつ計画的にサポートする研修体制を確立しています。

また、職員一人ひとりが、自己のキャリアプランに応じたスキルアップのため、30科目以上のメニューの中から選択して研修を受講することができます。

主体的に学習に取り組む職員の支援も積極的にを行っています(資格取得助成、通信教育助成など)。

さらに、高度で専門的な知識・技術を習得するため、外部の研修機関へ年間900名以上職員を派遣しています。

＜職員研修所から＞

職員研修所では、一人ひとりを「育てる」という姿勢を元に、多様化する行政課題を解決するため、自ら能力を高める職員を積極的に支援しています。

職員一人ひとりが、自ら成長しようとする職員のやる気を引き出す研修を実施していきます。

基本研修	選択研修	派遣研修
新採用 ↓ 2級職員 ↓ 3級職員 ↓ 4級職員 ↓ 副主任 ↓ 新任係長級 ↓ 新任補佐級 ↓ 新任課長級	キャリア入門 (30歳代) キャリア I (40歳代) キャリア II (50歳代)	クレーム対応 プレゼンテーション タイムマネジメント 法制執務 文書作成能力 説明・説得能力 政策形成能力 フォローシップ 計 30 科目以上
		自治大学校 全国建設研修センター 消防学校 市町村アカデミー J I A M 県内の研修機関 ・ ・ ・ 年間 900 名以上を派遣

＜基本研修＞職位等に応じて必要な知識、技能を習得する研修

＜選択研修＞キャリア形成や業務に必要な能力の強化・改善を目指し複数ある研修メニューから自らが選択する研修

＜派遣研修＞国などの研修機関で高度な職務遂行能力の習得を図る研修